



NPO PTPL “ともいき” 便り No.27

■立夏（りっか） （2013年5月5日発行）

さあ「夏」という字が現れました。日の過ぎ行く早さ、季節のうつろいにちょっと慌てたりしています。80歳台の高齢になったためかも知れません。

5月2日は立春から数えての八十八夜。茶摘みの季節です。静岡県の茶どころでは遅霜を防ぐために扇風機を付けた柱を立て、風を送り続けるなどの対策をしているようです。デリケートな世話から、あの新茶が生まれるのですね。

その新茶を友人が届けてくれました。鮮やかな緑色、若やいだ風味、心を洗うひととき。お茶の木と、友情に感謝。

私ごとになりますが、港区麻布仙台坂から目黒区柿の木坂に転居してひと月になりました。次女の住まいの隣室が折よく空いたからです。高齢化社会の当事者となって、親子が近くに住むことの安堵を、私たち夫婦も娘家族も、ともに実感しています。孫たちの顔と若い声も元気をくれます。

2階に昇る外階段があり、柿の木と梅の古木の脇を上ります。「清明」（4月初め）ころは芽吹いたばかりの柿の木の赤ちゃんの葉っぱがみずみずしく、つまんで食べたいほどでしたが、いま若ものの葉に成長し頼もしく茂っています。

今年の気象は不順。と、いうより荒っぽい感じがしませんか。温暖化など人間文明の身勝手のために、地球が「自然の体調」を崩し、病んでいるのではないかと懸念しています。しかし植物は、痛めつけられ戸惑いながらも、自分の生命秩序を正直に営んでいる。なにか崇高なものを感じてしまいます。“ツツピー・ツツピー”と鳴くシジュウカラの声を聞きながら、桜並木の緑道を歩くのは、なんとも嬉しいひとときです。

一方、4月には三宅島で震度5弱の地震、パキスタン、中国四川省でも再度の大地震。米国ボストンでは爆破事件など、地球の現在は自然災害や人災など

穏やかではありません。地球は、もがいているのでしょうか。

とくにボストン・マラソン爆破テロ事件は、米国社会の難しさをあらわにした事件でした。なぜこの国は憎まれるのか。犯人はチェチェン国出身の若いイスラム信者兄弟という。個人主義のつよい米国社会になじめず、溶け込めず、兄には米国人の友だちがいなかったと新聞は報じました。人種のツルボといわれる米国で、親しい知人・友人がいない孤独感はどれほど深いものであったことか。絶対に許されない爆破行為ですが、非難するだけでは解決できない文明社会の一面を見せつけました。映画『ボニー&クライド』が頭をかすめる、なんとも哀れで、救いようのないものを感じさせる事件でした。

いまアメリカに必要なのは、マネーゲーム資本主義で世界を制覇し、国内では弱肉強食の社会を続けるのではなく、共に生きるという「ともいき」の価値観に気付くことではないでしょうか。

「ともいき」とは「祖先と共に、人と共に、自然と共に、そして子孫と共に、結び合い、助け合い、支え合い、譲り合って生きる（NPO PTPL 勝田理事長）」という、日本発の新しい価値観・生き方です。日本は、米国に従属する金融資本主義に翻弄されるのではなく、古来から続く自然への畏敬の念を基本にした、和と感謝のある「ともいき社会」（真の民主主義）の国であってほしいと、恐ろしい事件を知るたびに思います。

それとともに「ともうみ」。「ともいき」価値観を基盤として、世界の人びとと語り合い理解し合って、知恵や技術を共に生かす「ともうみ」価値観によって、日本は世界諸国の精神的リーダーに育ってほしいと思うのです。願わしい成長戦略とは、倫理性のある創造的な成長ではないでしょうか。

私たち NPO PTPL はいま、「ともいき」と「ともうみ」という2つの価値観を、21世紀を生きる「車の両輪」として国際社会に提唱しています。

※「共生(ともいき)」「共生(ともうみ)そして「共幸(ともさ)ち」へ
をお読みください。 (<http://www.plantatree.gr.jp/2013.html>)
ご感想をお待ちしています。

朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

ともいき・ともうみ雑感彼是

- 「麦の秋（むぎのあき）」「麦秋（ばくしゅう）」とは？

麦の取入れ時（麦の黄ばむ頃）で、初夏のことをいいます。

「麦秋」といって旧暦4月の異名でもあります。（旧暦4月は新暦の5月頃、つまり、立夏、小満の節気です。）

「麦秋」に対して秋の稲の取入れ時「米の秋」ともいいます。

「秋」の語源をたどれば、百穀百果、穀物の成熟収穫の季節ということですから、「麦の秋」の言い方は季節は夏でも理にかなっているということです。

- ともいき便りの春分号の「春だというのに秋。秋だというのに春。」を読み返してください。

日本語の奥深さ、楽しさを満喫しましょう。

勝田 祥三（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長）

■ 事務局だより

◎ NPO PTPL も応援している富士山が世界文化自然遺産登録へ

4月30日、国際記念物遺跡会議（イコモス）が富士山の世界文化自然遺産登録を勧告したと文化庁が発表。

この登録活動を応援しているNPO PTPLにとってもうれしいニュースです。

登録あたり、富士山は古来、信仰対象として日本人の精神文化を形成し、海外にも多くの影響を与えた北斎や広重の浮世絵の題材にもなった文化的価値、そして日本の象徴としての意義が評価されました。残念ながら三保松原は除外されましたが・・・。

ただ、登録後の活動が一層重要になるでしょう。いまや年間30万人以上の登山者があり、登山者が残すゴミ問題も課題です。

この登録を機に、登山者や地元の人々がいかに共生して、文化と自然を守る新たな活動が問われることと思います。

葛飾北斎「富嶽三十六景」<http://www.tomoiki.tv/fugaku36/>

安藤広重「富士三十六景」<http://www.tomoiki.tv/fuji36/>

をお楽しみください。

作品紹介だけでなくいろいろな逸話もご覧いただけます。

NPO 富士山を世界遺産にする国民会議のホームページもご覧ください。

<http://www.mtfuji.or.jp/>

◎ゴールデンウィークは如何お過ごしでしたか？

今年は、スケジュール的にはあまり良くない日付の並びでしたが、東京スカツリー、銀座の新装した歌舞伎座、KITTEなど東京の新名所目当ての東京ツアーに人気があるようです。私は美術館巡りなどを楽しみました。

特に、現在、東京港区にあるサントリー美術館で開催されている「もののあわれと日本美」展は、古来、親しまれてきた「花鳥風月」「雪月花」「源氏物語」など美しい日本の四季や自然を代表する風物として絵画や工芸の題材となり、これらの言葉にあわせて「もののあはれ」という言葉をとくに採り上げ、その歴史を辿るとともに、誰もが心癒されるであろう抒情性あふれる日本美の世界を表現した展覧会です。

この展覧会は6月16日（日）まで。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp